

北上市出資法人等協働評価シート（評価用）

[法人の評価]

■ 1. 目的適合性（公益性）

※チェックは○・△・×で記載

チェック項目	法人	市担当	委員会
①設立目的に沿った事業をしているか。	○	○	
②現在の社会経済状況のもとでも設立目的は有効か、希薄化していないか。	○	○	
③他の民間事業者との競合はないか。代替可能な類似の事業がないか。	○	○	
④事業廃止により市民は不利益を被るか。	○	○	

出資等法人の自己評価

<input type="checkbox"/> A. 適切	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね適切	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切	<input type="checkbox"/> D. 不適切 (抜本見直し)
--------------------------------	---	-----------------------------------	--

評価の理由	<p>① について 運営協会は「日本現代詩歌文学館」の運営管理を目的に平成2年3月に設立され、以来26年の実績の結果、文学館は平成27年度末で蔵書資料130万点を超え、レファレンスを含め詩歌関係者から高い評価をいただいているほか、文学館建設を記念し創設され第30回を数える「詩歌文学館賞」贈賞を担うなど、「日本現代詩歌文学館」が全国規模に成長することに寄与しており、設立目的に沿った事業を展開している。</p> <p>② について 運営協会は、短詩型文学の専門文学館を管理運営する目的で設立されたが、「日本現代詩歌文学館」を管理運営する専門組織としての設立目的は有効で、希薄化していない。</p> <p>③ について ①・②からも分かるとおり、設立経緯の特性から26年の実績の中で、短詩型文学の文学館を管理運営するノウハウ（収集・保存・展示・レファレンス・他の文学館との連携・詩歌人との連携など）が蓄積されており、他の民間事業者との競合はない。</p> <p>④ について ①からも分かるとおり、事業廃止は、収集・保存・サービス提供のノウハウ、全国の詩歌関係者との人脈を断ち切ることであり、日本現代詩歌文学館が全国規模に成長させてきた事業ノウハウの破棄を意味する。事業廃止は文学館の活動を停滞させ、これまで積み上げてきた文学館の実績を放棄するもので、全国の詩歌関係者及び市民の不利益となる。</p>
-------	---

北上市出資法人等協働評価シート（評価用）

市担当部課の点検評価				
評価の理由	<input checked="" type="checkbox"/> A. 適切	<input type="checkbox"/> B. 概ね適切	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切	<input type="checkbox"/> D. 不適切 (抜本見直し)
	① について 開館当初の日本唯一の詩歌の専門の文学館としての設立目的に沿った事業を行っている。 ② について 運営協会は適切な管理運営を行っており、設立目的は有効である。 ③ について 他の民間事業者との競合はないものとする。 ④ について 今までの実績からも市民にとって不利益になる			
政策評価委員会の評価				
政策評価委員の意見	<input type="checkbox"/> A. 適切	<input type="checkbox"/> B. 概ね適切	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切	<input type="checkbox"/> D. 不適切 (抜本見直し)
	(This area is currently blank for the policy evaluation committee's opinion.)			

北上市出資法人等協働評価シート（評価用）

■ 3. 運営状況（計画性および効率性）

※チェックは○・△・×で記載

チェック項目	法人	市担当	委員会
①経営の基本理念・方針を策定しているか。	○	○	
②中長期経営計画を策定し、計画的に事業運営を行っているか。	△	△	
③設立目的に沿った十分な成果を上げているか。	○	○	
④顧客ニーズを適切に把握できているか。	○	○	
⑤市民への情報公開を積極的に行っているか。	○	○	
⑥効率的な組織体制となっているか。（職員の技術力・専門性は十分に確保されているか、また適切な人員配置ができているか。）	△	△	
⑦役職員の人件費は適切か。	○	○	

出資等法人の自己評価

<input type="checkbox"/> A. 適切	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね適切	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切	<input type="checkbox"/> D. 不適切 (抜本見直し)
--------------------------------	---	-----------------------------------	--

評価の理由

- ① について
指定管理選定に当たり、5年間の活動の基本理念・方針を策定し発表した。「つなぐ」をキーワードに①「全国と地域をつなぐ」、②「人と資料をつなぐ」を方針に、毎年度の事業計画を策定し、日本現代詩歌文学館の管理運営を行うこととしている。
- ② について 中長期の経営計画は策定していないが、指定管理者の立場から基本協定及び年度協定の指定管理者業務仕様書に基づき、具体的な事業計画書を策定及び事業実績書を市に提出し計画的な事業運営を行っている。また、法人の目的を達成するため定款に位置づけている事業については、毎年度事業計画に定款各号毎の事業を掲げ策定し、理事会の承認を受け計画的に事業実施している。
- ③ について 設立目的の一つ目は「我が国の詩歌に関する資料の収集・保存」に関しては平成27年度末で130万点を超え詩歌資料の充実度は日本トップクラスであること、二つ目は「我が国の文学関係者等の利用に供すること」については、所蔵資料の豊富さやレファレンス対応能力は詩歌関係者から高い評価を得ていること、三つ目の「文学の振興と文化の発展への寄与」に関しては、以上の二つの目的の成果に加え、第30回を数える詩歌文学館賞贈賞を担ってきたことや、我が国では初公開となった特別企画展の「塚本邦雄展 - 現代短歌の開拓者 -」を開催するなど、専門的な常設展・特別展の開催を通じ、我が国の文学の発展に寄与している。一方で、そういった側面が市民に十分に浸透しているとは言い難く、地元詩歌団体の作品展示や詩歌講座等、地域愛好者のすそ野を広げる事業を行い、市民へのアプローチも継続的に続けている。
- ④ について 全国の詩歌関係者で組織する「日本現代詩歌文学館振興会」と連携し、全国約750人の振興会評議員（協力員）に館報（年3回）を送付するとともにニーズ把握に努めているほか、運営協会企画委員（県内詩歌関係者）の意見を事業に反映している。
- ⑤ について ホームページ、詩歌関係誌、市の広報などを活用し情報公開している。
- ⑥ について 常設展及び特別企画展の企画力、レファレンス対応力など、職員の技術力・専門性は十分確保されているが、寄贈資料の受入・登録に時間を要している。
- ⑦ について 理事長除き役員は日額報酬であり、法人移行を機に職員も派遣職員をプロパー職員化を進め、人件費を削減している。

北上市出資法人等協働評価シート（評価用）

市担当部課の点検評価				
評価の理由	<input type="checkbox"/> A. 適切	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね適切	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切	<input type="checkbox"/> D. 不適切 (抜本見直し)
	<p>① について 指定管理者として市の施策に沿ったものを策定している。</p> <p>② について 中長期の計画は策定していないが、計画的な事業運営について2カ月に1回の定期合同会議を開催するなど常時市と連絡を密にとって進めている。</p> <p>③ について 収集した資料の数や今までの事業実績を見ても十分な成果を上げているものとする。</p> <p>④ について 全国の詩歌関係者だけでなく、市民の講座に関してもアンケートを取るなどし、ニーズの把握につとめている。</p> <p>⑤ について ホームページや広報紙を使って、適切に行われている。</p> <p>⑥ について 専門の職員を雇い入れるなど人材確保に努力しているが、資料整理の面で遅れが生じているためその解消方法を検討する必要がある。</p> <p>⑦ について 人件費を削減する努力をしており、適切と考える。</p>			
政策評価委員会の評価				
政策評価委員の意見	<input type="checkbox"/> A. 適切	<input type="checkbox"/> B. 概ね適切	<input type="checkbox"/> C. 一部不適切	<input type="checkbox"/> D. 不適切 (抜本見直し)

北上市出資法人等協働評価シート（評価用）

[市の関わり方の評価]

■ 4. 市の施策との関わり（市の方針評価）

※チェックは○・△・×で記載

チェック項目	市担当	委員会
①市の施策と法人の設立目的、活動内容は適切な方向性にあるか。	○	
②市の期待する成果を十分に上げることが見込めるか。	○	
③市の財政的・人的関与状況は適切か。	△	
④市の方針によらない場合に、市民が不利益を被るか。	○	

市担当部課の点検評価

評価の理由	<input type="checkbox"/> A. 適切 <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね適切 <input type="checkbox"/> C. 一部不適切 <input type="checkbox"/> D. 不適切 （抜本見直し）			
	① について 市の施策をとらえて適切な活動を行っている。 ② について 市の施策や文学館の果たすべき役割を理解し、成果を上げることが十分に期待できる。 ③ について 市からの派遣職員について、人数や任期のことなど今後検討が必要である。 ④ について 詩歌を通じた芸術文化の中心的な役割を果たしており、市民が不利益を被ると考える。			

政策評価委員会の評価

政策評価委員の意見	<input type="checkbox"/> A. 適切 <input type="checkbox"/> B. 概ね適切 <input type="checkbox"/> C. 一部不適切 <input type="checkbox"/> D. 不適切 （抜本見直し）			

北上市出資法人等協働評価シート（評価用）

■ 5. 総括意見

政策評価委員の意見	
-----------	--

■ 6. その他特記事項・参考意見等

政策評価委員の意見	
-----------	--

■ 7. 市と協働して事業を行ううえでの市に対する意見等

出資法人等の意見	<p>文学館条例が制定され32年を経過したことから、改めて設立の経緯を踏まえ、これまでの文学館の成果等を市として検証・評価し、今後の文学館の方向性を提示していただきたい。 →法人の経営方針及び中長期計画策定に反映。</p> <ul style="list-style-type: none">・日本現代詩歌文学館振興基本方針の策定（施策の位置付け、所蔵資料の収集・保存の規模、派遣職員と職員規模、予算規模など）。・施設の老朽化に伴う改修・更新計画の策定
----------	---